



マルバウスゴ(ツツジ科) 栗駒山で見られる珍しい高山植物、黒い実を付ける。



マルバシモツケ(バラ科) 標高1200mあたりから見られる高山植物、白い花が目立つ。



マタタビ(マタタビ科) 蔓植物で林縁に普通、夏に梅のような白い花を咲かせ実はドングリ形で黄色に熟す。



マンサク(マンサク科) 明るい乾燥気味の林に普通、花は雪融けと同時に咲く。



ミズナラ(ブナ科) ブナ林の代表種の一つ、やや乾燥地に多い、大木が多くある。



ミツバウツギ(ミツバウツギ科) 落葉灌木、やや湿った所に多い、梅雨時に白い花が咲く。



ミネカエデ(カエデ科) 1000m以上の深山に分布、ミネカエデより葉が大きく丸みがある。



ミネズオウ(ツツジ科) 栗駒山にある常緑の高山植物、あまり多くはない。



ミネヤナギ(ヤナギ科)1000m以上の深山に分布、ガレ場などに最初に出るパイオニア樹種。



ミヤマシキミ(ミカン科)海岸のタブ林の一部に生育する灌木、赤い実が目立つ有毒植物。



ミヤマハンノキ(カバノキ科)1000m以上の深山に分布、ミネヤナギと同様にパイオニア樹種。



ミヤマビャクシン(ヒノキ科)ハイマツなどと同じ所にある高山植物、写真の花はツマトリソウ。



ミヤマホツツジ(ツツジ科)1000m以上の深山に分布、ホツツジと似るが花柱が大きく上に曲がる。



ムラサキヤシオ(ツツジ科)ブナ林内に普通、春に咲く赤紫の花が美しい。



モミジイチゴ(バラ科)林縁、若い造林地等に普通、夏に黄色に熟した実は甘くて美味しい。



モミ(モミ科)里山の代表的な針葉樹、雑木林の伐採が止まるとモミ林に移行していく。